

令和5年度 美川まちづくりセンターの主な取組

事業名

～夏まつりで繋ぐ、地域力！～

第41回 美川夏まつり

P

●事業実施に至った背景、目的

- ★各町内での盆踊り慰霊祭等はそれぞれで行われているが、美川地域全体の活性化に繋がる事業として美川夏まつりは昭和57年から始まった。地元住民や帰省した人が集える場として8月14日を設定し、今日まで変更はない。発足当初から受け継がれた思いを継続していき、郷土愛を育て、地域の絆を深めるよう次代を担う美川の子どもへ繋いでいきたい。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ★美川夏まつり実行委員会立ち上げ
- ★美川夏まつり実施に向けた会議
第1回5月2日、第2回6月14日、第3回7月12日、第4回8月2日 計4回実施

D

●事業の概要

- ★8月4、5日(金・土) 会場河川敷整備 (重機2台で作業)
- ★8月6日(日)午前6:30～ 会場河川敷草刈り (実行委員会・地域ボランティア)
- ★8月14日(月)午前7:00～ 夏まつり会場準備
- ★8月14日(月)17:00～21:00

場所：第四中学校前 周布川河川敷

共催：美川まちづくりネットワーク、美川地区社会福祉協議会、美川27町内会、親友会、清流会等の青年団、消防団美川分団、第四中学校閉校記念事業実行委員会

内容：第四中学校閉校記念事業(生徒出演・校歌演奏・記念品配布)、地元ダンスチーム、石州よさこい流星恋、フラダンス、石見神楽(大尾谷神楽社中)、地元青年団と地域による屋台、お楽しみ抽選会、打ち上げ花火400発！



真夏の人力での作業

C

●事業実施後の振り返り

- ★コロナ後、4年振りの開催となったことや、恒例の打ち上げ花火の効果もあり、多くの問い合わせ、来場者があった。
- ★40～50代が実行委員の中核を担い、新しい考え、アイデアを盛り込んだ夏まつりとなった。
- ★今年は四中閉校の年となり、ステージに閉校記念の横断幕を掲げ、四中閉校記念品のうちわを会場で配布し、帰省した人や、地域へ伝える機会にもなった。

A

●令和6年度以降の方向性

- ★地域が夏まつりを継続開催する中で、各種団体が繋がりを深め、地域の活性化に繋げる。
- ★地域の伝統的行事を若い世代へ受け継いでいけるよう、人材育成に取り組む。
- ★花火を打ち上げる為の協賛金について、企業等へのさらなる周知をし、理解を求める。
- ★夏まつりを通して地域づくり、協働のまちづくりができる地域を目指す。

美川の夜空を彩る
400発の打ち上げ花火

